

2020年10月29日

株式会社ハルキ様 工場視察



10月に森町に本社のある株式会社ハルキ様の工場を見学しました。

構造材の集成加工工場の八雲町工場では、含水率チェック・集成柱加工・半端材の集成繋ぎ加工など材料を余すところがない様に効率を考慮した製造内容でした。森町の本社及び工場では集成加工の完了した八雲工場からの材を、製材加工しプレカット材や加工材（羽目板）として出荷していました。ここでは年間900棟のプレカット材出荷を行なっています。

ハルキ様は、道産材というテーマだけではなく、造林業や加工業者様の雇用までを考えた協業を実行されており。また、木育プロジェクトを開き小学校の子供たちに使っている机の天板交換と年数が経った机の修繕(workshop)を通じ“物の大切さ”を伝えておりました。“木”という素材から感じられる教えや学び、自身が使う物への大切さや愛着、人としての教育の大切さを感じてきました。物が溢れているこの時代に、忘れられていたものへの大切さを改めて学び、企業は社員の教育だけではなく、他人(ひと)との意思を共有する大切さも感じました。

私たちも自社の成長追求だけでなく、社会貢献に踏み出す必要性を考えなくてはならない時代だと再認識しました。

株式会社 札幌ベニヤ商会
常務取締役 福見 宏徳

